

作業1 被害を受けたアルバムから写真を取り出す

作業の手順

① アルバムに番号を付けてカメラで撮影します。

床や机に、段ボールや新聞紙など吸水性のあるものを敷いて、その上に濡れたアルバムを置きます。アルバム一冊ごとに番号を付けて、アルバムの現状をデジタルカメラで撮影して記録します。

② アルバムの泥汚れを取り除きます。

外側(表紙・裏表紙・小口)にこびりついた泥は、へらなどを使って取り除き、アルバムを一頁ずつ開いて、ページごとに泥汚れを取り除きます。(A) 透明シートの泥を、竹へら・刷毛・雑巾などを使って、丁寧に除去していきます。透明シートと写真の間に水が入り込んで



いる場合、泥を落とそうとしてシート面に強く触れると、写真の画像が流れて損傷してしまうことがあるので、慎重に作業を進めましょう。

③ 泥汚れを取り除いたアルバムの現状をカメラで撮影します。

アルバムを一頁ずつ開いて、ページごとに撮影します。必ずアルバムの番号を写し込んでおきます。(B)

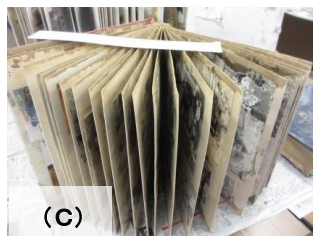


写真と透明シートの間に水が入り込み、写真の画像の一部が損傷したり、赤・黄・白など絵の具を溶かしたような状態(マーブル状)になっている場合は、写真を1枚ごとに撮影しておきます。

④ アルバムを乾燥させます。

直射日光のあたらない、通気性の良い場所で乾燥させます。

できればアルバムを立てた状態で広げて乾燥させます。(C)



⑤ アルバムを解体して写真を1枚ずつ取り出します。

アルバムの台紙から、写真を1枚ずつ剥がしていきます。(D) 写真と台紙の間にパレットナイフなどを差し込むと剥がしやすいです。写真を曲げないように注意しましょう。



透明シートと写真の間に水が入っている場合は、透明シートを無理に剥がすと画像面を損傷してしまうので、カッターで写真の輪郭にそってシートを切り取り、パレットナイフやピンセットで、シートごと写真を台紙から剥がしていきます。(E) 透明シートを剥がそうとすると画像が崩れ



れそうな場合や、透明シート面に画像が転写されてしまっている場合は、シートを無理に剥がさずにそのままにしておきます。

作業2 写真の洗浄

アルバムから取り出した写真は、そのままにしておくと細菌が繁殖して劣化するので、洗浄して泥や汚れを落とします。

写真を洗浄すると画像を損傷してしまうことがあるので、洗浄する前に写真をデジタルカメラで撮影しておきます。

作業の準備

- 必ずゴム手袋とマスクを着用します。
- バットに水道水を入れ、洗い用とすすぎ用のバットを準備します。
- 洗濯ローブ・紐・洗濯バサミなどを使い、写真の干し場を作ります。
- 写真が乾いている場合は、洗浄する前にやわらかい筆で、泥や砂などをそっと落としておきます。

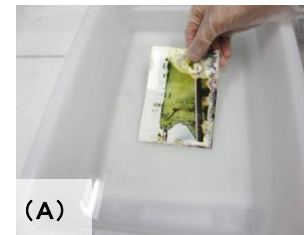
作業の手順



① 洗い

写真をバットの水道水に浸します。(A)

写真の端の部分から、そっと少しずつ洗います。指の腹や筆で、写真の表面をなでるようにして丁寧に汚れを取っていきます。(B) 写真の画像の損傷が進んで、赤や黄や白のマーブル状になったり、画像が溶けた状態になっている場合、主要被写体の部分はすすぐ程度にとどめましょう。画像に触れることで残したい画像が溶けて流れそうな場合は、洗浄をやめます。



損傷部分の画像が周囲の背景などであり、その部分の画像を残さなくてもよい場合は、白くなるまで洗います。



裏面の汚れも洗います。裏面を洗うときは、表側の画像面を指でさわって傷めないように、持ち方に気をつけます。



② すすぎ

写真をすすぎ用のバットに入れ、きれいな水ですすぎます。(C)

③ 水切り

すすいだ写真はスポンジマット・タオル・ラック・キッチンペーパーなどで軽く水切りをします。(D)



④ 乾燥(干す)

洗濯ローブ・紐・ネットなどに、洗濯バサミやクリップで写真をつるして乾かします。(E) つるす方向は一方通行(右から左など)に決めておきます。つるした最初と最後の部分にアルバムの番号票を付けます。(F)



干す場所がない場合は、新聞紙などの上に写真を一枚ずつ広げて乾燥させるか、スリット台、ラックなどに写真を立てて乾燥させます。



乾燥させた写真はポケットアルバムなどに入れて保存します。

写真の洗浄をしない場合

写真の画像がきれいな状態で、泥汚れや臭いなどがなければ、洗浄せずにそのまま乾燥させます。

※写真の台紙などにカビが発生していたら、消毒用エタノール(70%)で写真の裏面を少しずつ拭き取って殺菌します。

① アルバムから取り出した写真を乾燥させます。

新聞紙を敷き、写真の画像面を上にして、写真が重ならないように並べて乾燥させます。

写真が乾いて透明シートを剥がせる状態になったものは、シートを取り除きましょう。

② 写真を平らにのばします。(フラットニング)

乾燥させた写真がたわんだり曲がっていたら、平らにのばします。写真同士がくっつかないように、レーヨン紙やクッキングシートなどで写真を1枚ずつ挟み、上から重し(本などを利用)で押さえます。

平らにのばした写真は、ポケットアルバムなどに入れて保存します。



写真の乾燥や洗浄作業の前に準備すること・注意点など

- 被災した資料はどのような汚染水に浸かっていたか分からないため、必ず薄手のゴム手袋を使用し、カビや泥・ほこりを吸い込まないようにマスクを着用し、作業後には手洗い・うがいをしましょう
- 作業する部屋は、換気に注意し、空気清浄機があれば稼働させます。除湿機や扇風機も準備できれば稼働させましょう。

用意するもの



- 写真をアルバムから取り出す作業に必要なもの
- マスク、ゴム手袋（薄手のもの）
 - へら（竹製、ゴム製）、刷毛、ピンセット
 - パレットナイフ、カッター、ハサミ、雑巾
 - 消毒用エタノール（70%）、霧吹き
 - 新聞紙、キッチンペーパー（吸水用）
 - クッキングシート、レーヨン紙（フラットニング用）
 - 記録用のデジタルカメラ、空気清浄機、除湿機など

- 写真の洗浄作業に必要なもの
- マスク、ゴム手袋（薄手のもの）
 - 洗浄用の水を入れるバット（洗い用とすすぎ用の2つを用意）
 - 毛先のやわらかい筆
 - 水を切るスポンジマット、タオル、ラック、キッチンペーパーなど
 - 干すための洗濯バサミ、クリップ、洗濯ロープ、ビニール紐など
 - 新聞紙

写真の洗浄手順

① 洗い

・写真をバットの水に浸して指の腹や筆で そっと少しずつ丁寧に洗い、汚れを取る。裏面の汚れも洗う。



② すすぎ

・写真をすすぎ用のバットに入れ、きれいな水ですすぐ。



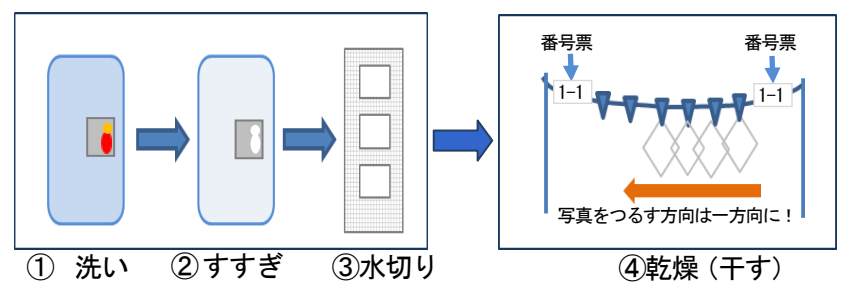
③ 水切り

・スポンジマット・タオル・ラックなどの上で、写真の水を軽く切る。



④ 乾燥（干す）

・写真を洗濯バサミでロープにつるすか、スリット台・ラックなどに立てて干す。



土砂災害で被災したアルバム・写真への対処法（手引き）

この手引きは、土砂災害などで被災したアルバムや写真への対処方法を、当館で行った作業の経験をもとにまとめたものです。

透明シートがある糊付き台紙のアルバム（フェルアルバムなど）やポケットアルバムが泥や水の被害を受けると、シートと写真の間に泥や水が入り込んで写真プリントが長時間濡れた状態となります。そのまま放置するとカビやバクテリアが繁殖して写真の画像部分の損傷が進んでしまいますので、なるべく早くアルバムから写真を取り出して、写真の状態に応じて対処します。

写真に泥などの汚れがある場合は、写真を洗浄します。すぐに洗浄できない場合は、アルバムや写真を陰干して乾燥させておきます。写真の画像がきれいな状態で、泥などの汚れや臭いがなければ、洗浄せずに乾燥させます。

- 劣化が進み対処の難しい写真については、写真専門店に修復を依頼することをお勧めします。
- 作業の過程でプリントの画像を損傷してしまうことがあるので、残したい写真は作業前に必ずプリントの画像をデジタルカメラで撮影しておきましょう。インクジェットプリンターで出力した写真は、水に浸すと画像がにじんだり、ベースの紙が破れたりする場合がありますので、注意が必要です。
- 損傷した写真の状態は様々ですので、個々の写真の状態により、この手引きの方法では適切に対処できない場合もあります。この手引きが作業結果を保証するものではないことをご理解ください。

- ◆参考サイト◆
- 富士フィルム「被害を受けた写真・アルバムに関する対処法」
<http://fujifilm.jp/support/fukkoshien/faq/index.html>
 - 歴史資料ネットワーク「資料の修復方法」
<http://siryo-net.jp/資料の修復方法>

◆文書の保存等についてのご相談・お問い合わせは広島県立文書館まで◆

もんじょかん
広島県立文書館
〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47
TEL 082-245-8444 FAX082-245-4541
Eメール monjokan@pref.hiroshima.lg.jp

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>